

平成 27 年 8 月 10 日に総務文教委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

## 新たな総社市総合計画(第 2 次総合計画)の進捗状況について

### ～内容～

「新たな総社市総合計画」(案)について、調査を行いました。

### ～質疑～

**問：「全国屈指の福祉先進都市」を、「全国屈指の福祉文化先駆都市」に変更した理由はなにか。**

答：本市は、備中国分寺をはじめ歴史文化等にいいものがあることから、目指すべき都市像の中に文化をいれるべきとの意見が多数あり、福祉と並ぶような形で入れた。

**問：「岡山・倉敷につぐ(並ぶ)新都心」とあるが、岡山、倉敷を全面に出すのはどうか。**

答：岡山、倉敷と連携していくことが今後の大きな課題である。また、目指すべき都市像として、市民がイメージしやすいようにネーミングしている。

## マイナンバー制度の概要について

### ～内容～

マイナンバー制度の概要について、調査を行いました。

### ～質疑～

**問：個人番号カードは、どのような情報が入るのか。**

答：基本情報は、住所、氏名、生年月日、性別である。利用の範囲は、社会保障、税、災害対策分野等の法律または条例で定められた行政手続である。今後は、国の機関や地方公共団体等も含めた情報連携の開始について、国が検討している。

## 契約事務及びコンプライアンスの推進について

### ～内容～

4月から取り組んだ制度変更，研修等について，調査を行いました。

～質疑～

問：随意契約で，電子入札システムを利用する対象となるのは，何件ぐらいになるのか。

答：昨年度を基にすれば，133件である。

問：契約検査課は，各課で修繕費として執行している工事について把握しているのか。

答：把握していない。今後の課題として把握に努めたい。

## 英語特区の状況について

～内容～

英語特区の幼児・児童・生徒数，また，英語教育研修会の開催，学生ボランティアの受入れ等について，調査を行いました。

～質疑～

問：スクールバスの利用状況はどうか。

答：7月現在で9人の児童と幼稚園児が利用している。4月から7月までの1日平均は7.4人である。

問：学生ボランティアの旅費等はどうか。

答：大学から総社までの交通費は大学が補助している。市内の宿泊費，交通費は本市が負担している。

## 待機児童対策について

～内容～

待機児童の対策について，調査を行いました。

～質疑～

問：年度末に待機児童が150名になる見込みの根拠は何か。無認可保育園の扱いはどうか。

答：今年度の申込者の数と今までの申込者，これから申込みをされる見込みをこれまでの実績を基に計算し，150人としている。無認可保育園に通っている児童も待機児童に含まれている。

**問：事業所内保育をしてくれそうな企業はあるのか。また，企業にとってメリットはあるのか。**

答：問い合わせが4社程度あり，これから協議していく。事業所のメリットについては，労働者の人材確保，また，地域の子どもを保育することにより，本市から運営費が支給される。